

【イエス様の卓越性】

ヘブライ人への手紙1章

1神は、かつて預言者たちによって、多くのかたちで、また多くのしかたで先祖に語られたが、

2この終わりの時代には、御子によってわたしたちに語られました。

神は、この御子を万物の相続者と定め、また、御子によって世界を創造されました。

3御子は、神の栄光の反映であり、神の本質の完全な現れであって、

万物を御自分の力ある言葉によって支えておられますが、

人々の罪を清められた後、天の高い所におられる大いなる方の右の座にお着きになりました。

4御子は、天使たちより優れた者となりました。

天使たちの名より優れた名を受け継がれたからです。

＊＊

今年の礼拝ではしばらくの間ヘブライ人への手紙を読んで行こうと思っています。

改めて、イエス様の偉大さや素晴らしさを確認しながら前に進みたいと思います。

ヘブライ人への手紙の著者は誰なのかわかっていません。

旧約聖書のことを知っている人たちへの文章であることは間違い無いと思います。

この書簡の内容はとても大切に、モーセの律法やそれまでのユダヤ教的な習慣を理解した上で、イエス様の福音はそれらを更新するものではなく、むしろ刷新するものとして書かれています。つまり、これまでの旧約の中の大事な出来事についてイエス様が来られたことで、まったく新しい形で提供されているのだと教えています。つまり古い契約が新しい契約によって塗り替えられたような新しさが紹介されているのです。それらすべては「御子イエスの存在と行動」によって表明されているというのです。

1章の中には

- 1) 神はこの終わりの時代に御子によって私たちに語られました。
 - 2) 御子は万物の相続者・創造者そしてみ言葉によってすべてを支えている
 - 3) 御子は神の栄光の反映・神の本質の完全な現れ
 - 4) 御子は罪の赦しをもたらし、その役割を完成させたお方
 - 5) 御子は天使よりも優れた存在
- ということが語られています。。

この3) ですが

御子は神の栄光の反映とは「反射・放射」という意味が含まれており

「神の本質の完全な現れ」とは「貨幣に刻印されて同じ像が刻まれているのと同じ」という意味があります。

つまり「人間として最大の範囲における神様の生き写し」と言ったらわかりやすいでしょうか。

そして5) 御子は天使よりも優れた存在

とありますが、

申命記33章にはモーセがシナイ山で律法を託された時のことと関連があります。

民が守るべき律法が神から天使によってモーセにもたらされたことが書かれています。

2主はシナイより来り

セイルから人々の上に輝き昇り

パランの山から顕現される。

主は千（ち）よるずの聖なる者を従えて来られる。

その右の手には燃える炎がある

ここにある「聖なる者」というのは天使たちのことを指しています。

つまり、神はモーセに「天使たち」を通して律法を託したのです。

ところが、イエス様は「天使たち」よりもはるかに優れた方なので

このお方が私たちに語る言葉はモーセが受けた律法よりもはるかに価値あるものなのだ
と考えることができます。

つまりイエス様は「人格的に優れている」とか「当時の宗教家よりはまともなことを
言っている人」というレベルではなく、まさに神が世に遣わされた最終的な
メッセンジャーであり、神様の輝きをそのまま刻印されている存在であり、
最高の救い主なのだということなのです。

このお方を通して語り、このお方の働きによって私たちのいのちは保たれており
このお方によって神様の重大なメッセージがもたらされているのだという
自覚をこころにしっかり持ちたいものです。

Youtubeの「MACF礼拝」はこちらです。

<https://youtu.be/PBAuppjaRyA>